つくばみらい市地域公共交通計画の基本的な方針・目標・公共交通施策

公共交通の課題を整理したうえで、基本的な方針として、あるべき姿を設定しました。
このあるべき姿を実現するために、5つの目標と10の公共交通施策を位置づけました。

公共交通の課題

●まちづくりと交通の連携
関連計画で位置づけている都市構造、機能立地、あるいは鉄道を活用した市外との関係等を踏まえ、移動性を確保することが必要

●持続可能な交通体系の構築
市の予算確保、交通事業者の事業継続を重視し、未来に向けて、持続可能な交通体系をつくることが必要

●公共交通のターゲットの明確化
本市の特性や市民のニーズを踏まえて、主な移動サービスの提供者を定め、集中して施策を実施することが必要

●地域特性への対応
市街地と集落地域等では、居住者や移動ニーズが異なることから地域特性を反映した交通体系をつくることが必要

●きめ細かなニーズへの対応
バスを利用することが困難な高齢者等がいることから、市民のニーズをきめ細かく反映した交通体系をつくることが必要

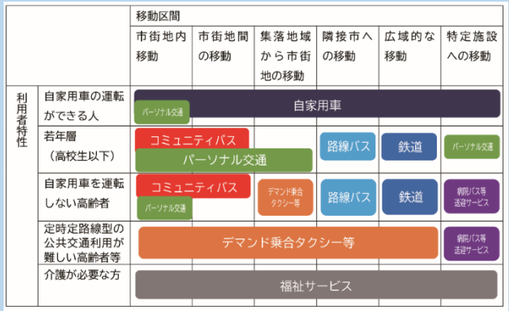
●人にあった交通サービスの提供
近年開発されている多様な移動サービス等を活用し、ニーズにあった多様な移動サービスを提供することが必要

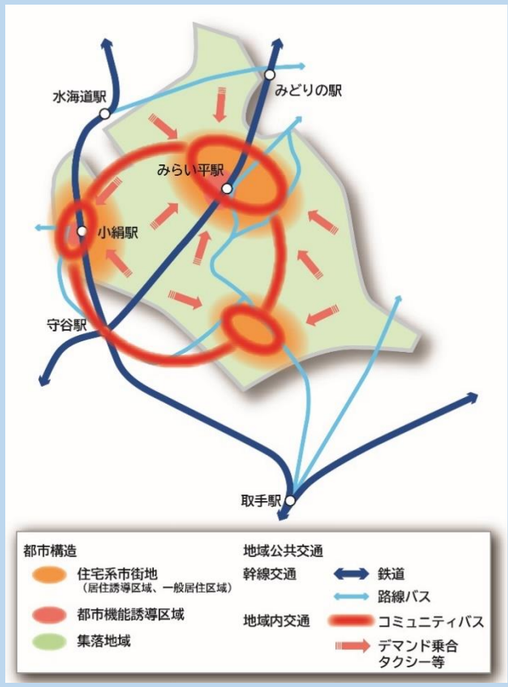
●公共交通の安全性・快適性の確保
バリアフリー化や新型コロナウイルスの感染対策等を実施し、公共交通の利用しやすい環境をつくることが必要

基本的な方針

あるべき姿

未来都市を目指して、緑あふれる環境の中でも、地域特性や人々のニーズにきめ細かく対応し、誰もが移動できる交通体系を持続する





目標

①骨格となる定時定路線型公共交通ネットワークの構築
市外、市街地間、市街地内の移動については、不特定多数の人が移動できる鉄道やバス等の定時定路線型の公共交通ネットワークを構築し、駅近隣や市街地への集客、交流・賑わいづくりを推進する。

②デマンド乗合タクシー等の有効な活用
デマンド乗合タクシーや一般タクシーの活用、あるいは新たな移動手段の検討により、定時定路線型の公共交通の利用が困難な市民や地域の移動性を確保する。

③パーソナル交通の普及
定時定路線型の公共交通やデマンド乗合タクシーや一般タクシー等に頼ることなく、近隣への移動等については、新技術や制度の活用により、個人で移動できる交通システムを普及させる。

④未来に向けた移動手段の検討
近年、新しい移動サービスが生まれていることを踏まえて、新技術を活用して、本市の特性に合わせて移動性向上が期待される移動手段の導入を検討する。

⑤みんなで支える公共交通が利用しやすい環境づくり
交通事業者、地域、行政が協力して、より公共交通の利用がしやすくなるように、情報提供や安全対策、利用促進等を進める。

公共交通施策

①コミュニティバスの再編
利用状況を踏まえて、効率的な運行エリア・区間への再編

②路線バスの確保・維持
現状の路線の維持、サービス水準の確保

③鉄道・路線バス・コミュニティバスの連携
鉄道・路線バス・コミュニティバスの接続性強化や連動した情報提供

④病院バスの維持・改善
隣接市の総合病院への移動しやすい環境づくりのために病院バスを維持・改善

⑤デマンド乗合タクシー等の維持・改善
市民ニーズを踏まえて、デマンド乗合タクシーの維持、改善の検討、高齢者への説明会などのＰＲの実施

⑥パーソナル交通利用の環境づくり
パーソナル交通のＰＲ及び公共空間や商業施設等での利用の環境づくりや、将来の新技術普及に向けた準備

⑦新技術活用の検討
幹線交通、地域内交通、補完交通を対象に自動運転やＡＩ等の新技術活用・実験

⑧バリアフリー化の推進
車両や乗降施設、情報案内等のバリアフリー化の推進

⑨公共交通の情報提供・利用促進
利用者にとってわかりやすい情報提供、利用促進策等の実施

⑩安全対策の実施
感染症対策や危険なバス停の解消等、公共交通を安心して利用していただく為の取組